

COURSE A 港南の歴史と水辺の魅力新発見コース

※ルートは逆の順番からも回ることができます。



港南の歴史と水辺の魅力新発見コース	
発	JR 高輪ゲートウェイ駅 移動時間 0分
1	高輪築堤 10分
2	高輪大木戸跡 1分
3	高輪橋架道橋(おばけトンネル) 10分
4	東京都下水道局芝浦水再生センター 1分
5	芝浦中央公園 10分
6	品川シーズンテラス 10分
7	新港南橋 3分
8	高浜運河沿緑地 10分
9	御橋橋 5分
着	クロネコヤマトミュージアム
所要時間(入場・休憩含まず) 約1時間00分	

総距離約 3 km

1 高輪築堤

高輪ゲートウェイ駅開発の際に出土した150年前(明治5年)に造られた線路です。昔の田町一品川駅間は第一京浜道路まで海でした。海を埋立て築堤(土手)を築き線路を通したため「海の中を走る鉄道」と言われていたそうです。



2 高輪大木戸跡

大木戸とは江戸時代に街道上の江戸内外の境界に設置された簡易的な関所のことを言います。東海道から江戸府内の入口、南の出入口として設けられ、昭和3年に国の史跡に指定されました。幕末期、伊能忠敬が全国測量の基点とした場所として有名です。



3 高輪橋架道橋(おばけトンネル)

正式名所は「高輪橋架道橋」。高さ約170cm、全長約220m。令和2年から歩行者専用となる以前は車も通り、タクシーの行灯がギリギリ通れる高さであることから「行灯殺しガード」とも言われていました。日本最初の鉄道が通っていた大正時代以前、水路として使用された名残です。



4 東京都下水道局芝浦水再生センター

昭和6年稼働、東京都で3番目に古い水再生センターです。下水処理の他、近隣地区にはトイレ用水等として供給していること、上部利用として、品川シーズンテラスや芝浦中央公園があることが特徴の一つです。



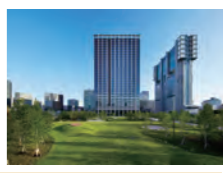
5 芝浦中央公園

東京都下水道局芝浦水再生センターの上部に造られた人工地盤の公園です。年2回春と秋に開花するバラを楽めるバラ園や遊具広場、ドッグラン、テニスコート等の競技場など、様々な特徴を持ち、幅広い世代にオススメできる公園の一つです。



6 品川シーズンテラス

東京タワーを眺めることができ、テレビや映画のロケにもよく使われています。東京都下水道局芝浦水再生センターの上部に建つビルであり、下水熱や再生水などを活用して、空調熱源やトイレ洗浄などに利用されています。



7 新港南橋

東京都下水道局芝浦水再生センターで処理した水が運河に流れ込む場所に位置する橋。暖かい水に誘われ、スズキやボラなどの魚が集まってきます。またカルガモやゆりかもめ・マガモなど多くの渡り鳥も観察することができます。



8 高浜運河沿緑地

平成元年に、くつろぎやすさを目的に整備されました。運河沿いは、芝浦中央公園近くの浜路橋から、新港南橋、御橋橋を周遊でき、全長2.6kmの遊歩道です。散歩やジョギングを楽しむことができます。春は桜並木が美しい場所の一つです。



9 御橋橋

橋名の由来は万葉集・防人の歌「今日よりは顧みなくて大君の、醜(しこ)の御橋と出で立つ我は」から引用された説があります。近隣にある東京海洋大学は、昭和19年海軍経理学校が築地から移設され、多くの経理学校修了生が御橋橋から戦地へ船出したそうです。夕刻時はライトアップされ、夜の散策も楽しめます。



着 クロネコヤマトミュージアム

ヤマトグループが創業100周年を迎えたことを記念して設立されたミュージアムです。大型シアターや本物のウォークスルー車に乗れる体験コーナーもあり、大人から子どもまで幅広い年代が楽しめる施設です。入館無料。



※月曜休館(祝日の場合は開館、翌営業日休館)